

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 新美 敢
幹事 堀江 宏輝
会報委員長 魚津 常義

No. 39

ロータリーに活力を——あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

1988～89年度 RI会長 ロイス・アビー

第331回例会 平成元年4月11日 (火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 59(57)名 出席 42名

出席率 73.68%

前回 4月4日 (修正出席率)98.25%

◇ ビジター紹介 5名

◇ お誕生日祝福

青山君(3/31)、小林君(4/13)、江崎君(4/16)

◇ ニコボックス

山本 真輔君 家族会楽しませていただきました。BB賞ありがたく毎日楽しんでます。

小林 明君 栗田下水道局長をお迎えして。誕生日祝い。

太田 茂君 先週、吉田出席委員長にご迷惑をおかけしました。

水野 賀統君 栗田下水道局長を紹介させていただきます。

菅原 宣彦君 チャーターメンバー副会長、古川 勝己さんの懐かしい話をしました。ご子息、為之さんと月刊“なごや”で対談いたしました。水野創立会長はじめみな様によるしくとのことでした。

三輪 康君 ホームクラブたいへん御無沙汰しました。

青山 敏郎君、江崎 民夫君 誕生日祝い。

宮尾 紘司君 結婚記念日祝い。

◇ 高沢ガバナーより委嘱状披露

深見 章君 1989～'90年度

財団学友会小委員会委員長

◇ 新美会長挨拶

今日は大きい方が良いか、小さい方が良いかの話です。男性からすれば正確に穴に入れるには大きい方がよいと言いますし、女性からすれば小さい方が楽でよいとおっしゃいます。こんな話をするとどうもやっこしくなっていけません。要はゴルフボールの話を見せて

頂く訳です。ゴルフボールも昭和65年1月(平成2年)からは日本ゴルフ協会の規定で42.67ミリ以上に統一されますが、現在プレーで使われている普通のボールの重さは46グラム弱で殆ど変わりませんが、大きさはスモールが41.15ミリ、ラージボールが42.67ミリとなっています。プロ、アマ共ラージ指向ですが未だ日本では国産二大メーカーの住友ゴム、ブリジストン共8、9割がラージボール1、2割はスモールのようなのです。新製品はすべてラージボールとのこと特に非力で体が小さくてもより遠くへ飛ばしたいという女性の欲求と、スモールに慣れたシニアゴルファーが20パーセント弱を維持しているのでしょう。何れにせよ国産も1年以内にはスモールの生産は中止らしい。私ぐらいの腕前ではどんなボールも同じことで何処へ飛んで行くのかボール任せと言ったところでは、ボールの構造では、糸巻きのワンピースとコア(核)のあるツーピースがありますが飛距離に余り差はないようですが糸巻きは温度差の影響を受けやすく零度と25度では17メートルも違ったと記録されています。温度が高い程反発係数が大きくなって遠くへ飛ぶからだといひます。

そうした事から前日にお湯に入れたりポケットにいれて暖めたり致します。練習場で使われるボールは単なるゴムのかたまりで製造過程が違い反発係数も極端に小さく従って飛距離も1割は落ちるといわれます。それをカバーする為悪い意味でのサービスとして1割程度短い所に距離表示をしてあるようでロストボールが入っていたりして中々距離の正確さは掴めないようですがプロは打ったときの感触で、それがどんなボールか分かるから問題はないとのこと。先頃ブリジストンではよりよく飛ぶ製品を販売したが英国のロイヤル。

アンド、エンシャント、ゴルフ、クラブ通称セントアンドリュースが決めた初速度制限（毎秒77.7メートル以下）に違反しているとして公認しない為製造を取り止め出荷済みを回収、工場在庫と合わせて24万ダースも廃棄処分にしたとか損害は10億円とか言いますが幻のNEWINGとして話題を呼びました。

◇講演

“下水道雑感”

名古屋市下水道局長

栗田 資夫 氏（紹介 水野(賀)君）



名古屋の下水道は、明治41年着工以来80余年の歴史を経て膨大な事業費を投入して整備を進めてきました。現在、国の「第六次下水道整備五ヶ年計画」に呼応して、本市においても5ヶ年計画をたて昭和61年から平成2年度まで総事業費2千億円をかけて人口普及率を90パーセントにするよう事業を推進しているところです。

その結果、昭和63年度末の普及状況は人口で87パーセントに達しています。

下水道の役割は、歴史的に見ますと都市における生活污水を排除することでありましたが、近年においては都市の発展に伴い排除するのみでなく汚水処理が加わってきました。さらに都市における市街化の進展とともに雨水排除機能も生命財産を守るうえから一層重要視されてきています。

このため現在では、下水道は、生活排水等の処理を通じて公共用水域の水質保全をはかるとともに浸水の防止に資することが、その目的であるとされています。

人間の生活に不可欠な水循環の側面から見ますと、市民生活及び生産活動等の都市機能を確保するため、まさに水道が動脈であり、下水道が静脈であると言えます。この視点に立って地味であっても重要な仕事であることをPRしていきたいと考えています。

さらに今後は将来の下水道の役割を展望し現在行っている若宮大通公園への用水供給等の環境用水としての活用、汚泥の有効利用、下水の水温を利用した冷暖房、光ファイバー等情報通信網としての下水管の活用等、下

水道の付加価値を高めるため、夢をもった多用途で親しまれる下水道を目指して各種施策を考えていきたいと思っております。

◇RIニュースより

RI創立84周年

ロータリーが世界を変える

1人の人間の行為で世界を変えることができるでしょうか？ 1905年に、ポール・ハリスというシカゴの弁護士が8人の友人を会合に誘いました。これがついには数々の人々の生活に影響を及ぼすようになるのです。最初のロータリーの会合から84年目に当たる2月23日に、この一つの小さな出来事がどのくらい大きな影響を及ぼしたか、じっくり考えてみましょう。

84年前にこの最初の会合が開かれなかったら建築されることはなかった学校、水道、保健センターについて考えてみましょう。

ロータリーが援助の手を差し伸べなかったら、文字を習うこともなかったし、あるいは、薬物を濫用してしまった若い人がどのくらいいたか考えてみましょう。アイキャンプで光を取り戻した人、ロータリーのボランティア医師や歯科医により苦痛が軽減された難民のことを考えてみましょう。

次に、ロータリーのポリオ・プラス・プログラムによってもさらされた生命を救うワクチンがなければ、生命を奪われたり、障害を負ったりする子供が世界にどれくらいいるか考えてみましょう。

ロータリーの創始者たちは、自分たちの行動がこんなにも多くの人々の生活に影響を及ぼしていることを少しも知りません。同じように、あなたのクラブの会員は、自分たちの善行の波がどのくらい遠くまで打ち寄せるか推測できません。1人の人間、一つのクラブ、一つの地区が、世界を変えたい、これからも変え続けます。

ポリオ・プラス最新情報

(1988年12月6日現在)

補助金の授与が承認された国	79
補助金総額	米貨 92,987,210
承認された補助金の下に予防接種を受けることになる児童総数	453,489,000
既に予防接種を受けた児童の推定数	139,500,000
支払済みまたは誓約した寄付額	米貨229,843,890
現金で支払われた寄付額	米貨150,874,125

◇次回例会(4月18日)

友愛の日(立食例会)

◇次々回例会(4月25日)

クラブフォーラム